

ひとりの声を
大切に！

林田かずお

Vol. **53**

2012.4

発行：林田和雄 港区赤坂9-5-26-301 TEL:03-5411-3207



武井区長が所信表明演説

港区議会第1回定例会が閉会！ — 平成24年度予算を可決 —

平成24年港区議会第1回定例会が2月22日(木)から3月16日(金)までの24日間、開かれました。2月22日に所信表明演説、23日、24日で代表質問、一般質問を行い、13名の議員が質問・提案を行った。なお、武井区長は所信表明演説の中で6月実施の港区長選

の出馬を表明された。この度の定例会は平成24年度の各事業の予算審議を行った。総額1422億円余り。前年度に比べ、約97億円の減。新規事業31、臨時事業87、レベルアップ事業18、地域事業19。平成23年度予算より27事業多い155事業となった。

平成24年度予算の 主な事業について

【災害に強く環境にやさしいまち】

- ・防災用品あっせん事業
- ・建築物建替等促進事業
- ・帰宅困難者対策
- ・田町駅東口公共公益施設整備
- ・家庭系ごみ量の「みえる化」事業

【将来に夢と希望を持って

くらせるまち】

- ・神明子ども中高生プラザ等建設
- ・港南子ども中高生プラザ等建設
- ・みなと保育サポート事業
- ・西麻布いきいきプラザ等改築

【地域の活力があふれるまち】

- ・港区商品モニター調査支援事業
- ・水辺観光推進事業
- ・旧飯倉小学校跡地活用施設整備
- ・新郷土資料館展示運営等準備
- その他、一部を裏面で紹介



“区議会・委員会便り”

ご相談はお気軽に！

議員団 3578-2935

自宅 5411-3207



平成23年3月11日の東日本大震災が発生して、一年が経ちました。被災され、生活再建に取り組んでおられる被災者並びに関係者の皆様にあらためてお見舞い申し上げます。

昨年の地震災害を受け、港区では防災対策基本条例を策定しました。区民、事業者、区など各々の責務を明確にして、減災に取り組むようになります。自分の命は自分で守ることが重要ですが、私も皆様の声をしっかり受け止め、「安心して暮らせる街“港区”」の実現を目指し、全力で働いて参る決意です。

ひとりの声を大切に！

「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと安全・安心な区民生活を実現するための予算」を可決！



【将来を見据えた財政運営の展開】

港区の歳入（家庭での収入）は長引く景気の低迷で4年連続の減収になっています。平成24年度予算において、23年度と比較して約20億円の減収となる予定です。港区の人口は凡そ21万人に達する勢いですが、特別区民税収入は伸びていません。個人の年間収入が落ち込めば、納付する税額が減少することになります。港区は歳出（家庭での出費）を抑え、基金（家庭での預金）を積んできました。平成24年度予算では、基金を取り崩して、住民サービスの一層の強化を図っています。以下、区民生活に直接関わる事業の一部を紹介します。今後のニュースでも連続で紹介して参ります。

知って得する情報館(震災編)

高齢者・重度障害者に防災用品をあっせん



ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、重度障害者、妊産婦の方で防災備品が必要な方に防災用品をあっせんします。

【高齢者支援課、障害者福祉課、子ども家庭課】

建築物立替等促進事業



区内で個人が居住する戸建住宅や分譲マンションを対象に、耐震化の推進を図るため、立替工事に係る経費の一部を助成します。

【住宅担当課】

帰宅困難者用備蓄物資の整備



駅周辺滞留者対策推進協議会の設立・運営の支援や訓練を行うとともに、30,000人分の帰宅困難者用備蓄物資を整備します。

【防災課】

緊急連絡体制等の整備



災害時の児童の安否確認や緊急情報を連絡するため、保育園、児童館などの児童施設を利用する児童の保護者にメール配信します。【子ども家庭課】

“赤坂・青山”ダイアリー

赤坂・青山地域では桜の木が芽吹いています。過ごしやすい春の季節到来です。花粉症の方には、まだまだ、厳しい状況が続いていますが、体調を整えて、素晴らしい毎日を過ごしてください。

